

中芸高だより

令和3年度
第5号

●三年生を送る会 二月二十八日(月)

生徒会主催で動画や贈る言葉の披露。また、心を込めて作った記念品の写真飾りに、思いの写真を入れ、一人ひとりに手渡しました。卒業生はみんな大喜びでした。

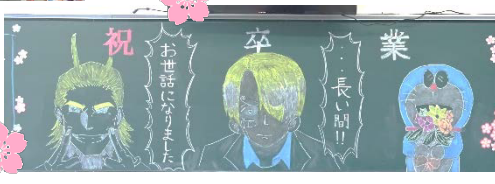
●同窓会入会式 二月二十八日(月)

卒業にあたり、同窓会会長村田秀作さんをお招きし、昼夜合同で入会式が行われました。

●卒業式 三月一日(火)

穏やかな春の優しさに包まれ、令和三年度の卒業式が挙行されました。新型コロナウイルスの感染防止対策として、卒業生、保護者、在校生、教職員のみでの式となりましたが、十九名が立派に成長し中芸高校を巣立っていきましました。卒業証書授与では、ホーム担任から名前を呼ばれた一人ひとりが、大きな声で返事をし、堂々とした姿勢で卒業証書を受け取りました。

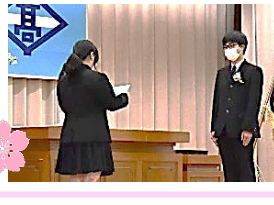
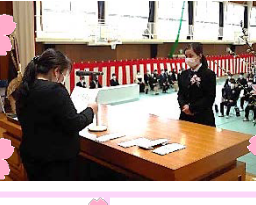
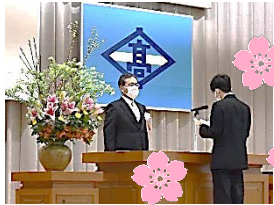
式辞で学校長は「この複雑で予測困難な時代に、私たちが答えのない問いに立ち向かうには、目の前の事象から解決すべき課題を見いだし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得のいく結論を生み出すことが重要だ。今後の社会を生き抜き、よりよい未来を実現するために、さらに磨きをかけてほしい。また、コロナ禍で、人との交流が制限され、社会生活や人間関係等で人間らしさが損なわれる状況にあるが、人間らしい行いをいつまでも大切にしたい。四月から成年年齢が十八歳に引き下げられるが、積極的に社会参加し、活力ある社会を築く一員としての責任を自覚して、不屈の闘志・精神で人生を歩むことを期待する。」と激励しました。



送辞では、在校生を代表して淡路章翔さんが卒業生への感謝と中芸高校の伝統を引き継いでいく決意を伝えました。そして「これから先皆様が進む道には、予想もしなかった出来事が待っていると思います。もちろん道は平坦ではなく、時につまずくこともあるでしょう。しかし先輩方は、困ったときはお互いに協力し合い、今までの高校生活を通して大きく成長してこられました。これから先、もし失敗することがあっても、お互いに助け合うことで立ちあがり、自らが望む道へと歩みを進めていくって欲しいと思います。」と卒業生へ新たな旅立ちの言葉を贈りました。

答辞では、卒業生を代表して五味凛太郎さんが三年間の思いを述べました。進路で悩み「充実した苦しさ」が自分を成長させたこと、辛いときに支えてくれた人たちへの感謝の言葉を伝えました。また、宿泊研修や、日々の学校生活で同級生との絆が深まったエピソードを語り「諦めずにお互い努力していきましよう。」とメッセージを贈りました。そして最後は「これから、卒業の日まで、何か一つでもやりきった経験ができるように、様々な活動に取り組んでください。そして、これからも、中芸高校の中心となつて頑張つていってほしいと思います。」と、先輩へのエールで結びました。

最後のホームでは保護者の方々も見守る中、生徒一人ひとりが教壇で自分の思いを語りました。ホームの後は、別れを惜しみながら友達や教員と写真撮影する姿もありました。最後になりましたが、この日を待ち望まれていた、保護者の皆様、本当におめでとうございました。新しい未来に向かって力強く歩み始めた卒業生たちの今後の活躍に心から声援を送りたいと思います。



●令和3年度朝テスト表彰者

今年度も、国語、数学、英語の朝テストを、それぞれ四回ずつ行いました。優秀な結果を残した生徒は表彰されます。三年生は十九名中十四名が教頭賞を受賞しました。一・二年生もぜひ来年度、続けて取り組んでいきましょう。

●校長賞 全四回のテストで九割以上正解

国語 一年 永野 南
三年 植本、戎井、清岡、中川、宮本
数学 三年 五味、中川、宮本
英語 一年 永野 南
三年 中川、森本

●教頭賞 十二回の課題提出が全て期限内

一年 磯村、小松、永野、平岡
二年 小松、小松、山下
三年 植本、戎井、小原、門田、清岡、清岡、五味、竹崎、田中、中村、弘田、松平、宮本、森本

●トライアル・スタディ 二月九日(水)

将来の進路決定に向けて、専門学校と技術学校の先生方をお招きして、体験授業を行いました。けつこう力業も必要だと分かった。作っていて楽しかった。(一年男子) 【高知県立高知高等技術学校】
実際にラッピングをして、とても難しかったです。けど、できた時の達成感がすごかったです。次は自分でラッピングできるようにしたいです。(一年女子) 【龍馬学園】
保育士という仕事は、たくさん子ども達のことを優先して考えて動かなきゃいけない仕事なんだと思った。(二年女子) 【高知福祉専門学校】
今日はとても良い授業ができて良かったです。(二年男子) 【高知リハビリテーション専門学校】
前に持っていたイメージとは違った介護方法があった。学費サポートが充実していても良かった。(二年男子) 【平成福祉専門学校】

●地域課題探究成果発表会 二月一日(木)

地域の現状や課題を知り、高校生として課題解決に向けて行ってきた探究活動の発表会が、遠隔システムを利用して実施されました。山田高校を主管校とし、県下十七校が参加して、中芸高校を含む五校が発表を行いました。

本校は三年生がアロマをテーマに、三年間の活動を報告し、ゆずと木の香りをブレンドしたアロマスプレーの商品開発を披露しました。一・二年生も、他校の取り組みを知り、自分たちの地域学習である中芸学に向けて、いい刺激になったようです。

